

会報
シルバー

公益社団法人 大館市シルバー人材センター

おおだて

大館市字扇田道下6番地10 電話49-4088



第20回会員作品展 “シルバーで 知恵の輪 人の和 社会の輪”



12月末現在会員数

男 435人
女 154人
計 589人

(前年比20人減)

大館 438人
田代 88人
比内 63人

本年もよろしく
お願い申し上げます

他職員一同

監	監	監	理	理	理	理	理	理	理	理	理	常務理事 兼事務局長	副会長	会長
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	菅	佐
田	小	中	安	三	三	寺	佐	島	伊	櫻	鈴	安	菅	佐
中	林	嶋	田	上	浦	田	藤	山	藤	庭	木	達	原	藤
瑞	則	正	鏝	文	晃	弘	壽	ア	晋	実	公	明	利	
穂	子	三	介	弘	剛	美	康	子	子	一	明	正	裕	吉

謹賀新年

新年のご挨拶



会長
佐藤 利吉

会員の皆様、明けましておめでとうございます。お元気で新年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

今年は羊年、羊は性格が穏和・従順にして、団結心が強く仲間同士助け合いながら、集団のルールに従うという。羊は象形文字で、善や義という漢字と繋がりが深い。争いを好まず、集団行動をする仲間意識の強い動物である。

私たちも羊にあやかり、シルバーの会員であることを誇りに思い、山積する課題に臆することなく立ち向かい、会のモットーである「共働・共助」の実を上げるために、全員一致協力して頑張りたいと思います。

今年度の事業実績は、受託契約高の月別の推移を見ますと、十一月末現在、昨年度より増えた月と減少した月が交互にあり、全体で三百四十万円増えております。

新年のご挨拶



大館市長
小畑 元様

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、前年に引き続き市内の民間投資が好調で、工場等の新増設数は三年連続で十社以上を達成し、投資額累計は約二百五十五億円、直接的な経済波及効果では約五百八億円となりました。また、本場大館きりたんぼまつりでは来場者数が過去最高の十二万人を突破し、さらに、本市のふるさとキャラクター教育では、地域の素晴らしさや地元の職場体験等を通じ、職業を学ぶ取り組みが高く評価され大臣表彰が相次ぐなど、産業、観光、教育の各方面にわたり明日への希望につながる成果を得て、新年を迎えられたことを大変嬉しく思っております。

今年度は、全国的に問題となつてくる人口減少社会への対策に本格的に取り組み、市民が快適に安心して住める街、誇りや生きがい

感じながら暮らせる街を目指していかねければと考えております。

例えば、大館駅前の再整備に向けた検討に着手し、災害に強くコンパクトで魅力ある都市基盤の整備に努めるとともに、企業誘致や地元企業支援の更なる推進により働きがいのある職場をより一層創出していきます。また、少子化対策や働きながら子育てしやすい環境の整備にも力を入れていきます。あわせて、シルバー世代が生きがいにも満たした生活を送れるよう、福祉の充実にも努めていきたいと考えておりますが、その取り組みには、シルバー人材センターの存在が欠かせません。本市といたしましては、今後も様々な面で貴センターを支援してまいりますので、皆様におかれましては、幾久しく元気に、お仕事や趣味に励んでいただければ幸いです。

結びに、大館市シルバー人材センター並びに会員の皆様の日頃のご協力にあらためて深く感謝申し上げますとともに、本年も皆様にとつて幸多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

会員紹介「年男・年世」

今年の干支は、未です。

八十四歳になる方が六人、七十二歳になる方が四十六人在籍しています。

未年生まれの会員に、ご自身の「①趣味や特技 ②嗜好品 ③健康法 ④好きな言葉 ⑤シルバー会員として思うこと」を伺いましたのでご紹介いたします。

なお、誌面の関係上全員ご紹介できませんことをご了承願います。



十三班
浪岡 トシ

- ①旅行、手芸
- ②果物、和菓子
- ③散歩、貯筋体操
- ④「継続は力なり」
- ⑤八回目の干支の未を迎え、羊のようにのんびり一歩一歩あゆんでいく年でありたいものです。今後とも宜しく願っています。



十九班
松賀 聖子

- ①手芸、舞踊
- ②日本茶
- ③ラジオ体操（出来る限り体を動かすこと、歩くことを心がけております）
- ④「初心忘れるべからず」
- ⑤どのような仕事をいただいても楽しみながら出来ることに幸せを感じております。

今後とも健康に気をつけながら頑張りたいと思っておりますので宜しく御願致します。



十九班
花田 義博

- ①絵画、書道
- ②日本酒他
- ③体を動かし、汗を流すこと
- ④「一期一会」
- ⑤会員になって初めて会った人、言葉を交わさずとも何かを感じた人、たった一度だけの人、温かい出会いでした。残り少ない人生に貴重な思い出と体験、ただ、ありがとうございます。感謝、感謝…。



十一班
本間 勇雄

- ①カメラ
- ②酒
- ③山歩き
- ④「思いやり」
- ⑤シルバー会員になり、アツと言う間の十余年。これからも健康に気をつけ、会員の皆様と仲良く仕事を頑張りたいと思っております。



二十二班
山口 政子

- ①縫い物
- ②コーヒー
- ③体を動かすこと
- ④「笑顔」「思いやり」
- ⑤シルバー会員になり多くの方に



十四班
中嶋 正三

支えていただき、仕事をさせていただくことに感謝しています。心身ともに健康に気を付けて頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

- ①陸上競技（大会運営の奉仕）
- ②林檎、ビール
- ③早朝散歩と体操。週一回、チャリンコで町並み探訪。
- ④「感謝」「奉仕」
- ⑤八回目の未年を迎え喜んでいますが、会員になって早二十三年。微力ですが筆耕業務で楽しく、監事役を拝受し活動できた事に感謝申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いします。



二十班
藤田 君枝

- ①特にない
- ②コーヒー
- ③出来るだけ体を動かすこと

④「感謝」、「ありがとう」
 ⑤会員になり十数年経ちます。今皆さんのお世話になりながら仕事をさせて頂いて、本当にありがたいと思っております。
 今後とも宜しくお願いします。



二十三班
 畠山江美

①特にありません
 ②コーヒー
 ③体操 (特に足腰)
 ④「誠実」
 ⑤仕事に対する気持ちの持ち方、一日を終わって汗を流し満足な気持ち、明日も又頑張る楽しみで元氣が出ます。いつも有難う御座居ます。



十班
 岩谷和子

①手芸、カラオケ、ゲーム、ドライブ
 ②たまご酒、梅酒、コーヒー

③温泉入浴、散歩
 ④「年輪」
 ⑤会員になり早くも十数年が過ぎ、今日まで無事故で仕事をしてこられました。
 様々な場面で一緒にお仕事をした会員の皆さんや事務局の皆さんに感謝申し上げます。



十一班
 小川三男

①歌う事
 ②焼酎
 ③四十分前程の散歩
 ④「誠実」、「有難う」
 ⑤会員になり十数年間。有難く感謝して居ります。



二十四班
 高橋岩夫

①ドライブ、旅行
 ②ビール、焼酎
 ③常に体を動かすこと、散歩
 ④「ありがとう」、「感謝」
 ⑤会員になつて多くの人達と知り合え、いろんな仕事をいただき、皆さんの支えで仕事が出来て感謝しています。
 また、健康に気を付けこれからも皆さんと共に頑張ります。宜しくお願いします。



六班
 山本清蔵

①立木の伐採 (直径一五〇cm位まで)
 ②コーヒー
 ③散歩
 ④「初心にかえる」
 ⑤センターにお世話になつて十四年になりました。
 仕事も誠心誠意やり、次につなげたいと思います。

感動多き旅を終えて
 ～象潟・酒田と由良温泉～



十八班
 庄司良二郎

昨年引き続き同じ職場の先輩と一緒させて頂きました。参加者は少し前の乙女が十七名、ずつと前の青年が十一名の計二十八名で感動の旅がスタート。
 出発時は誰の仕業かイマイチの天気。旅行日和を期待しながらバスは最初の見学箇所、金浦の白瀬南極探検隊記念館へ。館内のオーロラドームで南極往還の壮絶な自然との戦いの映像を見ながら感動。また、黒光りした当時の雪上車に乗り込み、童心に帰りはしゃぐ姿が印象的であった。
 バスは西に進み、山形県に入ったら小雨と風の影響で、添乗員の配慮でコースを変更。酒田山居倉庫群・初孫酒造とつけもの処本長で飲んだり食ったりで満足し、本日の寝るところ由良温泉「ホテル八乙女」に到着。美人女将の出迎を受け、ジイジは鼻の下を長く

し期待しながら銘々の部屋へ。あいにくの天気で日本海に沈む壮大な夕日の情景が見られなく残念無念。

これからが旅行最大イベントの宴会。十八番を発表し若返り、自分も皆さんも感動させるチャンス。トップバッターは宴会部長の田村千工さん、お面を被りジェスチャー交じりで愛嬌を振りまき、「釧路湿原」の曲を披露したら場が一変。次から次へと歌や踊りで盛り上がり、終演まで拍手喝采の連続で最高の交流の場でありました。

付録で私が鼻笛で童謡の「もみじ」を演奏、新聞紙を破り元に復元させるマジックも行いました。二次会は会長の部屋で行い、楽しさいっぱい、今日はこれでお開き、明日を夢みて眠り(グーグー)につく。

二日目は一転最高の天気。最初は世界一クラゲがいる「加茂水族館」。平日なのに館内は混雑で身動きがとれない位大盛況。大小五十種類程、虫眼鏡が必要な位小さいのもいて感動。

さらに凄いのは「アシカショー」。アザラシの泳ぎ方、歩き方及び喜び方の仕草をアシカが真似し、賢さに全員が感動の連続でした。



「お酒を賞味した酒屋前で」

この後、庄内藩校致道館・鶴岡城址跡を見学、庄内神社で各々が家族の健康、自己のボケ防止及び帰路の安全を祈願。庄内観光物産館でお昼にし、お土産を買い込んで大館へレッツラゴー。

無事センターに到着。別れを惜しんで「皆さん来年も会いましょう」と声掛けしながら楽しんだ旅行に感謝し、銘々帰路につく。

こんな楽しい旅行も久し振り、会長はじめ企画から旅の最後までお世話してくれた皆様に感謝申し上げます。

「会員作品展」と「反省会」



二十二班
安保 ミヨ子

シルバー会員作品展も二十回目を数えました。

昨年は国民文化祭の関係で十一月の開催となつてしまい、菊などが季節外れで少し寂しい気がしました。それでも三十五人の会員から写真、書、手芸品、盆栽、山野草、切り絵、木工作品など二百三十一点も出品され、大勢の方に見てもらいました。

私を含め二十八人の実行委員は全員ボランティアです。出品者や職員の手を借り、会場設営や展示期間中の管理、撤収作業等に一致協力して取組みました。

最終日、実行委員の一人から、「せっかく皆で頑張ったのだから一杯やりましょう」と提案があり、後日の実行委員会の後に反省会を開くことになりました。

反省会当日、午前中に四人でスパーに向かいました。事前に私



「第20回会員作品展」

の家に集まり綿密に打ち合わせをしたはずなのに、品定めで行ったり来たり、予算の心配をしたり、参加者二十人分の買物は大変。買った物を車に詰め込み、センターに帰って女性達で盛り付けです。何とか間に合いました。

おまけは、高橋京子さんと伊多波キ又さんの「手料理」、鈴木さんと田中さんと荒川さんの「ビール」の差し入れに、会場いっぱい大盛り上がりでした。

反省会の前、実行委員会では嬉しい出来事がありました。サブラ

イズと言うのでしょうか？ 皆を代表して、中嶋正三さんから実行委員長の寺田晃美さんに「感謝状」が贈られました。遊び心とボケ防止にと心を込めて書いたそうです。皆拍手喝采です。中嶋さん、寺田さんありがとうございます。

それから、作品展の際は佐藤会長はじめ、局長さん、三浦さん、櫻庭さん、それに事務局の工藤さん、差し入れありがとうございます。

終わりに、会員の皆さん、二十一回目の作品展に向けて何かに取り組んでみませんか！

介護家事援助講習会に参加して



六班
加藤 洋子

講師の先生から有意義なお話を沢山聞いたとき、今迄深くものごとを考えたことの無かった私は、大変参考になりました。

私は高齢者になりましたが、これまで介護保険の「制度や仕組み」についての知識が、まったくありませんでした。今回この制度について勉強できたことは大変良かったと思っております。

自分の意志で体が動かさなくなったら、公的機関に助けを求めることが出来るのだなあ、と思うようになりました。

介護が必要になれば、要介護認定が必要で、申請して、一次判定と二次判定があり、それ等によって要介護度が認定されてサービスの利用も変わって来るようです。短い時間でしたが、いろいろ教わることが出来ました。

最後は介護保険のお世話になるかも知れませんが、まず自力生活が続けられるように、日頃から体調を整えて、動ける間は他の人も助けるような行動をしなければと思っております。

まだ元気が残っておりますので、要支援や要介護の人達のためにも出来る事はやってやろうとの意欲も持っております。

世の中のことに興味を持つようにして、頭を少しでも使うように心掛けて、毎日楽しく過ごせるよう頑張っていきます。



「介護家事援助講習会」

趣味のセメント工芸



二十四班
羽澤 喜美

趣味は誰もが持っていると思います。登山、釣り、盆栽、花毛糸布を使った趣味など、数多くあると思います。

私がセメント工芸に興味を持つて作り始めたのは、もう三十年以上も前のことです。職業が左官工だったこともありまして、公園な

どでテーブル、椅子など擬木でブ口が作ったのを見て自分でも作ってみたのが最初です。

セメントはなかなか厄介です。暑い時は硬化が早く、寒い時は逆に遅くなり、形を整えるタイミングが必要となります。また、年輪や皮の部分など、なかなか上手くいかないものです。何十個か作ってみました。

その後、熊や蛙にも挑戦。生き物は、顔や全体のバランスが大切になります。出来あがりを見て納得することは、まずありません。出来てから直すのはセメントの場合不可能です。

それからしばらく空間がありません。アンパンマンやドラえもん、トトロなどキャラクターの飾り物を見て、セメントで作れるか挑戦してみました。アンパンマンやドラえもんの場合、表面のツルツルや丸みを出すのが大変です。十回くらいは塗り重ねます。表面のツルツルはセメントに色を混ぜても色むらが生じてダメです。色むら無くするにはセメントではダメ。お金を出すと色々な塗料がありますが、べつに趣味でやっているのでも、手取り早いペンキで表面を仕上げています。



セメント工芸「くまモン」と「フクロウの親子」

虎、ライオン、蛙とか、逆に色むらのあつた方が良いものは白セメントに色を混ぜて仕上ります。他にも鶴、象、タヌキ、フクロウなども作りました。

作成時間は朝四時から六時頃までです。四月頃から九月頃まで殆んど毎日作っています。日中に作ることはまず無いです。今まで作った数は二百を超えていると思います。中でも多いのはフクロウで、百個位は作ったのかな。たまに親が小さい子供を連れて見に来ることもあります。

セメント工芸はそろそろ終わりにしようか、と思っっているところです。

部長紹介

熟年の技術を未来へ



総務部長
佐藤 弘康

地域で一般家庭の庭先で働く熟年者の姿を見て、約二十年以前にシルバーに入会しました。シルバーに入会しても働く機会は無かったのですが、熟年者の作業から学んだことは沢山ありました。

○雪吊り作業は美しい

毎年秋になると庭木の冬囲い作業が行われます。一般家庭には色々な庭木があり、工夫しながら様々な作業をしております。なかでも庭木の中心に一本の棒を立て、頂点から数十本の縄を下げ、枝を吊り上げる雪吊り作業はすばらしく、このような作業は造園業者の仕事と思っていました。

また、丸刈りにした庭木を雪の重みに耐えるよう、枝を縄でシボメて結ぶ作業も一人では大変です。縄を引き締めながら結びつける男結び（イボ結び）作業も、経験者

でなければできない作業を熟年者が手軽に行っていました。

雪吊り作業、縄を手軽に扱い庭木を縛るなどの作業を、シルバーの熟年者が作業することに感動しました。

○新たな就業機会の拡大に挑戦

少子高齢化が進むなか、シルバー会員の就業機会が減少しており、新たな就業場所を拡大することも課題となっております。ある地域のセンターでは、生ごみを回収し、有機農業に活用する取り組みをしているところもあります。

また、除草班などでの残滓、芝生の刈り取り作業で取り除いた雑草が人目につかない場所に捨てられています。この場所にはカブトムシが大量に発生し、子供たちの楽しみの場所となっております。カブトムシが発生することは、残滓が昆虫の住みやすい環境にあることであり、残滓を有機農業の推進にお手伝いすることも可能と考えられます。

地域の農業・林業、そして観光資源の開発が活性化施策として重要な課題です。新たな就業場所を考え、活力ある高齢化社会を目指していきたいと思えます。

新会員紹介

山本政一	佐藤隆俊	松岡俊	岩谷久雄	大森甚助	中村清美	高清水夫	花田金夫	小笠原正久	佐藤悟則	吉田敏文	二田絹子	黒丸マサ	芳賀忠司	福岡一美	濱田テイ子	小間屋忠政	田村秀雄	吉田勝紀	柴田勇一	金谷悦	阿部正彦	菅原久治	羽澤隆治	
二班	二班	二班	二班	二班	六班	十二班	十三班	十四班	十四班	十四班	十四班	十六班	十七班	十八班	二十班	二十班	二十班	二十一班	二十二班	二十二班	二十三班	二十四班	二十四班	二十四班

・以上、二十四名の方が新しく仲間入りしました。皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

●会員獲得と 仕事開拓活動

今年度も地域班正副班長にお願
いし、センター独自制作のポスター
を貼ってもらいました。

また、六月の「田代タケノコ祭
り」と十月の「大館圏域産業祭」
では、理事・監事が中心となつて
来場者にポケットティッシュとリー
フレットを配りました。次は「比
内とりの市」で行う予定です。

他に、会員の皆様の口コミ勧誘
と大館市広報へのチラシ挟み込み
をお願いし、十二月になつてから
も六人の入会者がありました。

にもかかわらず入会者数より退
会者数の方が上回っており、会員
数は昨年同期比二十人減となつて
おります。引き続き皆様のお力添
えをお願いします。



役員街頭宣伝活動in樹海ドーム「産業祭」

お知らせ

●継続会員登録と年会費 自動引落しのおお願い

・二月中に、二十七年年度年会費自
動引落し事務の関係で、継続し
て会員登録していただけるか、
又は退会されるか、確認のため
の「通知文書」が配布されます。
退会せざるを得ない方は「退会
届」の提出をお願いします。
継続して会員登録される方は、
届出不要です。(期日までに退会
届が提出されない場合、継続し
て会員登録されるものとしたし
ます。)

・出来るだけ継続して会員登録し
ていただけるようお願いします。
※継続会員登録の場合、ゆうちょ
銀行の通帳から年会費が自動引
落しされます。手数料と年会費
で3025円です。三月下旬に
引落しの予定ですので、通帳残
高不足の無いようお願い致しま
す。

●確定申告の季節です

・シルバー配分金は、公的年金と
同種の「雑所得」です。
・公的年金と配分金所得のみの方
は、六十五万円の特例控除があ
ります。

・一方、労働者派遣で就業した方
は「給与所得」になります。秋
田県シルバー人材センター連合
会から「源泉徴収票」が送付さ
れますので、配分金とは区別し
て申告してください。

●三月の入会説明会の予定

- 三月十一日(水)
- 三月十八日(水)
- 三月二十五日(水)
- 四月以降は、毎月第二と第四水
曜日に開催します。(午前九時
開始)

●地域班会議に参加を

・担当の班長・副班長さんから「地
域班会議」開催の連絡がありま
す。
・センターとの意見交換を図る良
い機会です。是非参加して下さい。

●会長杯争奪

“新春麻雀大会”のご案内

- ・期 日 平成27年1月28日(水)
- ・時 間 8時30分開会
- ・参加費 一人千五百円
- ・※賞品及び昼食代含む
- ・募集人数↓先着二十人
- ・申込は事務局へ49-4088
- ・※競技中は「禁煙」です。

編集後記

明けましておめでとうございます。
会員の皆様にはご家族共々お
健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

・昨年は十二月一日に初雪が降
り、その後も連日の降雪で、各
家々では除雪作業で大変です。
・センター庭木班もおもわぬ大雪
で、樹木の雪吊り作業に大変難
儀しました。

・アベノミクス選挙は六百三十
九億円もの膨大な予算を費やし
ました。国民の半分は納得いか
ない選挙との報道でしたが、私
たち高齢者、そして地方の声
が届く政治であつて欲しいと願
うばかりです。

・また、先月、介護保険制度に
ついて勉強する機会がありました。
・なるべく利用せずに済むよ
う、普段から体力・筋力維持に
努めなければと、考えさせられ
ました。

・私達シルバー会員はまだまだ
元気です。「福祉の受け手から
社会の担い手へ」の合言葉で、
市民に感謝される会員であるよ
う共に頑張りましょう。

・会報六十八号も皆様のご寄稿
とご協力により発行することが
出来ました。ありがとうございます。

三浦、伊藤、鈴木、畠山、安田